

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月日実施)	総合評価(月日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策
1	教育課程 学習指導	一人ひとりの確かな学びを支えるための教育課程を編成し、教育目標の実現に向け、各教科等の指導を関連付けながら魅力ある授業を展開する。	①一人ひとりの確かな学びを支えるために授業内容表を作成し、系統的な教育課程を整備し、教育活動の充実を図る。 ② 学部での授業研究の充実を図り、教職員一人ひとりの授業力向上に取り組む。 ③地域に貢献する教育活動を教育課程に位置付け、地域資源の活用と開発を意識した計画と実践を行う。	①-1 年間指導計画を作成するにあたり、授業内容表を意識し、教科等の系統的な指導につながることに留意する。 ①-2 ICTを活用する等教育実践の発信を積極的に行うことにより、家庭と学校との連携を深め、効果的な学習を実践する。 ②-1 学校全体で、授業研究に取り組む体制を作る。 ②-2 授業研究等を通して、学部、学年ごとに授業の振り返りを行い、PDCAサイクルを効果的に実践できるようにする。 ③ 地域に貢献する教育活動を教育課程に位置付け、地域資源の活用や教育活動の実践を進める。	①-1 授業内容表の整備と連動し、系統的な指導につながることに留意して、年間指導計画を作成することができたか。 ①-2 ICT等を活用し、教育実践の発信を積極的にを行い、家庭と学校との連携を深めることで、一人ひとりの指導を効率的に行うことができたか。 ②-1 授業研究に取り組むための体制を整備することができたか。 ②-2 教員一人ひとりが授業研究等を通し、授業の振り返り、研修に取り組むことができたか。 ③地域に貢献する教育活動を教育課程に位置付け、実践することができたか。					
2	児童・生徒 指導・支援	個別教育計画作成・運用システムを構築し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の充実を図る。	① 児童・生徒一人ひとりに応じた指導を行うために実態の捉え方や重点目標の設定について共通理解を図る。 ② 個別教育計画の記載について研修を行い、記載内容の充実を図る。 ③ 個別教育計画検討日を活用し、実態把握や評価を総合的に検討する。	①-1 児童・生徒一人ひとりの実態の捉え方について共通理解を図るために専門職の活用、アセスメントについての研修の機会を設け、実践する等の対応を行う。 ①-2 重点目標の設定については学部間で共通理解を行う機会を設定する。 ② 個別教育計画の記載内容について研修等を通して共通理解を図り、教職員一人ひとりが適切な記載を行う。 ③ 個別教育計画検討日の持ち方を検討し、適切な検討を行うことができるように資料整備、参加者の充実を図る。	①-1 児童・生徒一人ひとりの実態把握や重点目標の設定を専門職の活用、アセスメントの実施等多角的に行うことができたか。 ①-2 重点目標の設定について学部間で共通理解を行う機会を設定することができたか。 ② 個別教育計画の記載内容の充実を図ることができたか。 ③ 個別教育計画についての検討(振り返り日)を計画的に行うことで実態把握や評価を総合的に検討することができたか。					
3	進路指導・ 支援	地域の関係機関との連携を築き、児童生徒が地域で豊かに暮らし働くことにつながる指導・支援を展開する	① 高等部第一期卒業生を送り出すにあたり、児童・生徒の自立と社会参加に向けて、キャリア教育の推進を進める。 ② 学部間のつながりを踏まえ、地域資源を取り入れた作業学習の充実を図る。	①-1 高等部卒業後の生徒の自立と社会参加について整備を行う等児童・生徒一人ひとりのキャリアアプランを検討する等キャリア教育の充実を図る。 ①-2 生徒の取組や変容について面談等を通して保護者に伝え、家庭との連携を含めたキャリア教育を進める。 ①-3 相談支援センター等地域関係機関との連携を強化し、進路支援を進めていく。 ② 作業コーディネーターを中心に、中学部、高等部の作業のねらいや目的を検討し、学部間のつながりを構築し、地域資源の活用を実践する。	①-1 児童・生徒一人ひとりのキャリア教育を推進することができたか。 ①-2 面談等を通して保護者との情報共有を丁寧に行い、家庭との連携体制を深めることができたか。 ①-3 相談支援センター等地域関係機関との連携を強化し、進路支援を進めることができたか。 ② 作業学習のねらいや目的、地域との連携について検討し、実践を進めることができたか。					
4	地域等との 協働	共生社会の実現に向け、地域が積極的に学校運営に参画し、学校で、地域で「ともに学び、ともに楽しむ、ともに喜ぶ」教育活動を創造・展開する。	① 学校運営協議会、各部会、地域学校協働本部の活動を通して、地域の方が学校づくりに参画する仕組みづくりを推進、整備する。 ② 本校としての地域におけるセンター的機能の方向性を明確にし、推進する。 ③ 地域が参画した教育活動の充実を図る。	①-1 学校運営協議会や各部会での協議が学校運営に反映できるようにする仕組みづくりを推進、整備する。 ①-2 学校運営協議会、各部会、地域学校協働本部の位置づけを整備して、学校づくりへの関わりを明確にする。 ②-1 本校におけるセンター的機能の方向性を明確にする検討をすすめる。 ②-2 方向性の検討を進めた上で近隣小中学校、高等学校のニーズを把握し、全教職員が出前授業、教育相談等を通して、地域の教育力向上のためコーディネートを行う。 ②-3 地域関係機関や教員間での連携を図り、居住地交流や学校間交流等全教職員が交流及び共同学習を担う取り組みを進める。 ③-1 あおば支援学校を活用したあおばフェスタ、スポーツフェスタ等の行事、スポーツ文化プログラム、施設開放を整備し、活動を充実させる。 ③-2 外部人材の活用を図り、通学支援や学習活動の充実を図る。	①-1 学校運営協議会や各部会で協議されたことが、職員に周知され、学校運営に反映される仕組みを整備することができたか。 ①-2 学校運営協議会や各部会、地域学校協働本部の位置づけを整備し、学校づくりへの参画についての道筋を作ることができたか。 ②-1 本校におけるセンター的機能の方向性を明確にすることができたか。 ②-2 近隣学校のニーズを把握し、コーディネートを行うことができたか。 ②-3 居住地交流や学校間交流等全教職員が交流及び共同学習を担う取り組みを進めることができたか。 ③-1 あおばフェスタ、スポーツフェスタ等地域が参画した教育活動を整備することができたか。 ③-2 外部人材の活用を図り、通学支援や学習活動の充実を図ることができたか。					
5	学校管理 学校運営	児童生徒、保護者、教職員、地域と誰もが安全・安心で、使いやすく整った教育環境の充実を図る。	① 感染症予防対策を含めた児童・生徒が安心して過ごすことのできる教育環境を整備する。 ② 職場環境づくりの整備を推進する。	①-1 学校運営要項や各種マニュアルについての職員の共通理解を図り、活用を図るとともに適宜改善を行う。 ①-2 福祉避難所マニュアルや 会計マニュアル等の整備を進める。 ①-3 歯みがきや給食配膳等児童・生徒が感染症対策を行いながら、安全に活動を行うことができるように整備を行う。 ②-1 業務分担表を整備し、教職員一人ひとりの業務の見えるかを進め、業務平準化につなげる。 ②-2 職員研修等を通して、教職員間の同僚性醸成に繋げ、連携強化を図る。	①-1 学校運営要項や各種マニュアルの活用及び改善を行うことができたか。 ①-2 福祉避難所マニュアルや 会計マニュアル等の整備を進める。 ①-3 社会情勢を踏まえた上で、安全に活動が行えるように整備を進めることができたか。 ②-1 業務分担表を作成し、業務の見直しに繋げることができたか。 ②-2 教職員の同僚性を高め、職場環境の整備を進めることができたか。					